

震災を乗り越えて

能登島の秋祭り 各地区で再開！

今年も9月中旬から10月中旬にかけて、能登島の各地区で神様に五穀豊穡の感謝を捧げる秋祭りが行われました。

能登半島地震の影響で、神事のみ執り行われる地区もある中、復興の歩みとともに神輿が町を巡り、太鼓や踊りの演舞が披露される地区もありました。鰻目地区、祖母ヶ浦地区、ハケ崎地区、閨地区では、久しぶりに祭りのにぎわいが戻りました。また、昨年に続き、向田地区・曲地区・半浦地区・別所地区でも秋祭りが行われました。



鰻目



祖母ヶ浦

閨



向田



半浦

別所

秋祭り当日は、神輿の門祭りや獅子踊り、にわか踊り、太鼓や笛の囃子などのにぎやかな音色が響き渡りました。そして沿道には多くの観衆が集まり、声援や掛け声が飛び交う、活気あふれるひとときとなり、震災前の秋の能登島が戻ってきたような、そんな温かい気持ちになりました。

秋祭りの練習や準備に励んでくださった青壮年団の皆さん、踊り子や囃子を担当した子どもたち、そして支えてくださった地域の皆さま、本当にお疲れさまでした。

コミセン
便り第105号

能登島新聞

2025

11
月号

発行所

能登島地域づくり協議会

☎ 84-1110

◆こども会議WS

半浦の秋祭り 練習

9月24日と10月2日、こども会議のワークシヨップが行われ、半浦地区の皆さんにご協力いただきながら、6年生の子どもたちが半浦の秋祭りの練習に取り組みました。



子どもたちは、太鼓・笛・踊りのグループに分かれて練習を開始。踊りを担当する子は、自分の振り付けを真剣な表情で習い、動画を撮って動きを確認するなど、意欲的な姿が見られました。太鼓の子は、叩き方やリズムの取り方を丁寧に教わりながら、力強い音を響かせていました。

笛を担当する子の中には、もともと自分の地区で笛を吹いた経験がある子もいましたが、半浦地区の吹き方とは異なるため、楽譜を見ながら試行錯誤する様子も見られました。

さらに10月13日（月祝）には、実際の半浦の秋祭りを見学し、踊りや太鼓、笛の演奏を間近で体験する機会も得ました。

本番のふれあいまつりに向けて、子どもたちは貴重な学びの時間を過ごすことができました。

◆ふれあいまつりで秋を満喫！

・ウォークラリー参加者募集中！

11月9日開催の「能登島ふれあいまつり」では、毎年恒例の「能登島ふれあいウォークラリー」を実施します。

今年も、参加者の中から抽選で豪華賞品が当たるチャンス！参加申込みの締切は過ぎておりますが、現在も参加者の募集を行っております。ぜひご家族やお友達と一緒にご参加ください。

参加申込は、電話または左記のQRコードからお申し込みください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております！

《問合せ・申込先》

能登島地域づくり協議会

TEL 84-1110

または下記QRコード



・お得なお買物券、販売中！

ふれあいまつり当日に使える「お買物券（100円×11枚綴り）」を、1冊1000円で販売しています。

まつり当日のお買い物に100円分お得になります！ぜひこの機会にお求めください。

販売場所：能登島コミセン 事務所

販売期間：11月7日（金）まで

※当日の販売はございませんのでご注意ください。

部会報告

総務部会

◆能登島みらい通信
・能登島体験く島の秋を味わうを
実施しました

9月20日・21日、能登島の自然と食文化を楽しむ1泊2日の体験プログラムを開催しました。

初日は、春に田植え、夏に草刈りを行った田んぼで稲刈りを体験。参加者は鎌を使って稲を刈り、束ねて稲架干しを行いました。また、コンバインにも乗車し、機械化された稲刈りの様子にもふれました。今年度再生した田んぼは、夏の雨不足にもかかわらず良好な生育を見せ、収穫の喜びを分かち合うことができました。

2日目は、地元漁師から仕入れたアオリイカを使った捌き体験と、新米の食比べ会を実施。鯨目町の加地さんの指導のもと、子どもたちも一緒にイカの捌きに挑戦し、刺身や唐揚げ、煮物など多彩な料理を楽しみました。新米は能登島の3地区から「ハナエチゼン」「月あかり」「ゆめみづほ」を用意し、隅田屋商店の片山氏による炊き方のレクチャーと



ともに、粒の大きさや粘りの違いを味わいました。

午後には農家・料理人向けの新米食比べ会も行い、品種ごとの特長や調理適性を共有。今後の作付け計画にも役立つ機会となりました。

能登島の恵みを五感で味わい、地域のつながりを深める2日間となりました。

・第2回森づくり講習会を
開催しました

今年度2回目となる森づくり講習会は、自伐型林業の道づくり講師として全国を飛び回る橋本光治さんに来ていただきました。

橋本さんは、徳島県那賀町の山林約100haを管理する自伐林家で、針葉樹だけでなく自生の広葉樹を活かした混交林は、土砂災害防止や水源涵養効果といった様々な森林機能が活かされた、自然と調和した美しい山林として注目されています。

講習会は10月2日・3日の2日間開催し、延べ7名が参加しました。最初に座学で橋本さんの山林の紹介と森づくり・道づくりについての講義があり、参加者からは熱心に質問が飛び交いました。

講義のあとは現場に移動し、バックホウでの道づくり実習を行いました。今回の参加者は経験者で機械操作は慣れている方が多かったのですが、橋本さんの道づくりの技術の高さにそれぞれ魅入っていました。

次回森づくり講習会は10月27日・28日の2日間、(一社)ふくい美山きときとき隊の宮田香司さんを講師に開催予定です。

・米フェス&能登島キャンパーズ
ミーティング2025 開催

10月11・13日の3連休に、ウェランド芝生広場を中心に開催されました。当日は雨が心配されましたが、暑いぐらいの陽気となりました。たくさんの人にご来場いただきました。

これは能登島の新米を味わっていただき、能登島米のファンを作ることを目的に実施したイベントで、会場では炊き立ての新米を片手に、ご飯がどんどん進んでしまっさままなお供を楽しんでいただきました。近隣のキッチンカーにも多数参加いただいたほか、東京から料理人も駆けつけてくれ、本格カレーや能登の鮮魚を使った時雨煮・塩糍焼、豚みそや牛すじ大根・能登豚の串焼きなどを格安で販売、大好評でした。



また、おむすび教室・海苔巻講座などの体験コーナーも、ご家族で参加いただき学びあるひと時にもなりました。

同時開催のキャンパーズミーティングでも同じくお米をテーマとし、おいしいアウトドアクッキングや飯盒炊飯の体験もご用意。夕刻からはライブを楽しみながらの焚火を囲んだバーも開店するなど、みなさん大いに盛り上がりしました。



・能登島米の取り扱いを開始

春に立ち上げた新会社「能登島みらい株式会社」では、今秋から本格的な能登島米の販売に向けて動き始めています。農家さんやJAから能登島で育ったコシヒカリを仕入れ、地域内外に向けての販売を通して農業を、つまりは能登島の暮らしを支えていくことが目的です。今年は酷暑のため水不足やカメムシの被害も大きい中、何とか収穫に漕ぎつけた貴重なお米をしっかりと販売し、能登島を知ってもらうきっかけを作っていきます。前述の米フェスもその取り組みの一環です。

現在は仕入れを進めつつ、拠点となる建屋の整備(向田)やキッチンカー・精米機器の手配などを進めており、「能登島の米屋」となるべく奮闘しております。今後は少しずつでも生産を引き受け、生産から加工・調製と販売までを一貫して行う体制をつくっていきます。

教育文化部会

◆島っ子クラブ活動報告
・みたらし団子づくり

9月26日の島っ子クラブでは、中秋の名月ということで、みんなでもたらし団子作りに挑戦しました。

この日は、春まで島っ子クラブに毎週参加してくれていた「ひーろー」が東京から来てくれて、久しぶりに一緒に活動することができました。

団子作りは、もち粉に水を加えてこねるところからスタート。水加減が難しく、手がベトベトになってしまいう子が続出！指に餅がくっついて、なかなか思うように丸められませんでした。粉を足しながら、みんなで工夫してなんとか形にすることができました。

茹で上がった団子に、地元の醤油を使った特製のみたらし餡をたっぷり絡めて完成！一人あたり串3本分を作り、できたてをその場でべろりと食べる子、おうちへのお土産にする子など、楽しみ方もさまざまでした。

作るときも、食べるときも、子どもたちの笑顔がいっぱいのひとときでした。



今月の

能登島っ子

◆PTCAレクリエーション大会



9月23日（火・祝）、能登島小学校でPTCAレクリエーション大会が開かれました。

この日は、児童と保護者・兄弟、そして先生方も参加し、各地区ごとにチームを組んで「フラフープ送り」「シエスチャージゲーム」「大つな引き」など、子どもから大人まで楽しめる種目と一緒に楽しめました。

校庭には笑顔と歓声があふれ、競技の合間には会話や笑い声が飛び交い、親子や先生方とのふれあいを楽しむ、にぎやかな時間となりました。

中でも「大つな引き」では、力を合わせて綱を引く姿に、見ている人たちから大きな声援が送られ、勝ち負けを超えて会場全体が一体感に包まれる場面もありました。

また、能登島小学校の運動会でおなじみの「海の子ダンス」も披露され、今回は保護者の方々も一緒に参加。かつて自分たちが踊った懐かしい振り付けに笑みがこぼれ、親子で並ん

で踊る姿に温かい拍手が送られていました。

最後には、参加者全員で記念撮影を行い、子どもたちからは「楽しかった！」「という声があちこちから聞こえてきました。笑顔に包まれた校庭で、心に残る楽しい1日となりました。

環境防災部会

◆環境整備事業

10月21日（火）、少し肌寒い天気の中、町会連合会、女性会、コミセン利用団体、協議会委員の皆さまの協力のもと、秋の環境整備事業を行いました。

女性陣には、主にコミセン敷地内の草むしりやゴミ拾いを、男性陣にはコミセン裏山の法面と、仮設住宅敷地内の草刈りを担当いただき、作業前は伸びた草でやや殺伐としていた景観も、作業後はすっきり、気持ちの良い眺めになりました。特に、仮設住宅横の土手はクズやセイタカアワダチソウでびっしりの状態でしたが、草刈りチームの力で大変綺麗になり、仮設住宅の皆さまにも喜んで頂けると感じました。

参加していただきました各団体の皆様、ご協力ありがとうございました。



《広告》

High performance Residence
構造計算専門
全棟構造設計



ファーストクラスで暮らす

by 西川総合建築 Presents



【問合せ先】
にしけん社長
☎0120-911-018

七尾 西川



《広告》

お部屋、水廻りのリフォーム専門店

部屋セレブ

屋根、外壁のリフォーム専門店

みちがえる君

エッ!? 毎月 9,800 円で新築のような家に住めるの!?

※一日当たり 320 円（当社提携銀行借入時）

新築のような外壁や屋根、間接照明とキュートな内装にリフォームをして、お客さんに自慢できるお家にしませんか？
にしけん社長が責任をもってあなたの人生とお部屋を変えます！

《人生が変わるお見積もりはこちらまで》

担当：にしけん社長 ☎0120-911-018



お知らせ

能登島地域デマンド交通プロジェクト

あいのり交通



令和4年度から実施しているデマンド交通実証実験について、11月から西エリアの能登島南線路線バスの一部の運行を停止してデマンド交通として運行する実証実験を行います。

この期間中に駅や病院、スーパーなどに行かれる際は、ぜひ「あいのり交通」をご利用ください。

予約等の詳しい内容については、本誌11月号と一緒に配布するチラシをご覧ください。

◆運行期間 2025年

11月3日月～12月27日土

◆運行時間

8:30～14:45 (乗車最終時間)

※11:10～12:10の間は運行しません

※朝・夕方の上記以外の時間帯は路線運行となります

◆対象者

能登島交通南線沿線エリアにお住いの方

※祖母ヶ浦線エリアの運行も12月27日まで続きます。

行政からのお知らせ

能登島の今	9月30日現在	先月比較
世帯	952	(+ 1)
人口	2,223	(- 4)
男	1,057	(- 1)
女	1,166	(- 3)

年齢別人口	人数	先月比較
0～19歳	241	(- 1)
20～64歳	961	(- 1)
65歳～	1,021	(- 2)
計	2,223	(- 4)

能登島の現状を
知ろう11.20
木

行政・市民くらしの相談

相談担当者：行政相談委員、人権擁護委員



日常生活の困りごと、人権相談をお受けします。予約は不要です。

場所》コミュニティセンター 集会室1
日時》11月20日(木) 10～12時

令和8年 七尾市はたちのつどい・能登島地区新成人祝賀会のご案内

令和7年度内に二十歳を迎えられる皆さまへ。
新たな門出を祝う式典と祝賀会を、下記のとおり開催いたします。

市内に住所がある方・市外で事前にご連絡頂いた方への案内状は12月上旬に発送いたします。

進学や就職などで七尾市外に転出した人で、七尾市成人式への出席を希望する新成人の方は、お早めに下記の問合せ先までご連絡ください。

◆対象者

平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれ

《七尾市はたちのつどい》

日時：令和8年1月11日(日) 10:00～
(受付：9:00～9:30)

会場：七尾市文化ホール 大ホール

《能登島地区 新成人祝賀会》

時間：式典終了後 13:00～(予定)

場所：能登島地区コミュニティセンター 和室



【問合せ先】能登島地域づくり協議会

(☎84-1110 / 担当：出島)

11月3日より
祖母ヶ浦線・南線の一部が
デマンド交通になっています。
詳しくは、あいのり交通のチラシをご覧ください。



能登島交通株式会社 TEL: 0767-85-2130

広告募集中

お問合せはコミセンまで

